

「地産地消と食育、県の情報発信に関するアンケート」の実施結果報告

「地産地消と食育、県の情報発信に関するアンケート」の実施結果を次のとおり報告します。

アンケートにご協力くださいました回答者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

アンケート結果につきましては、今後の広聴広報業務の参考とさせていただきます。

アンケートの概要

1 アンケート実施期間

平成30年4月23日（月）から5月7日（月）まで

2 回答状況

対象者数 1,155人

回答者 857人

回答率 74.2%

年代別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	4人	57人	192人	234人	188人	142人	40人
割合	0.5%	6.6%	22.4%	27.3%	21.9%	16.6%	4.7%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	425人	234人	100人	75人	23人
割合	49.6%	27.3%	11.7%	8.7%	2.7%

*北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

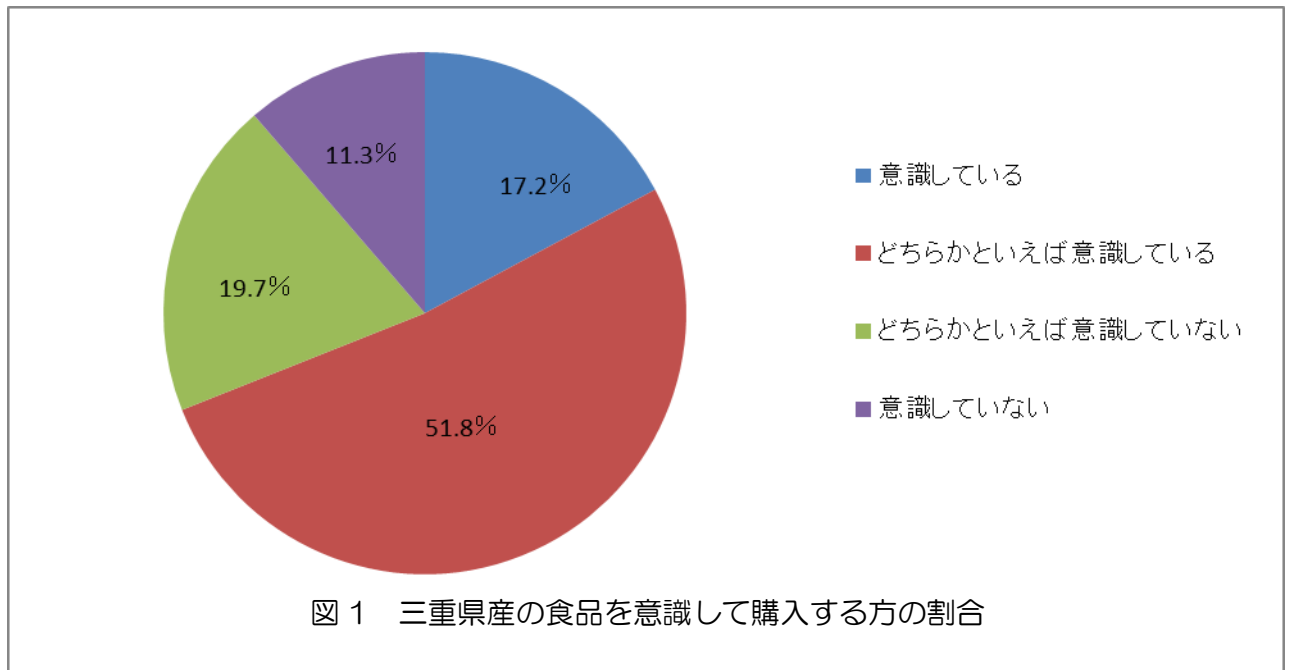
伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

アンケートの結果

Q1 三重県産食品の購入について

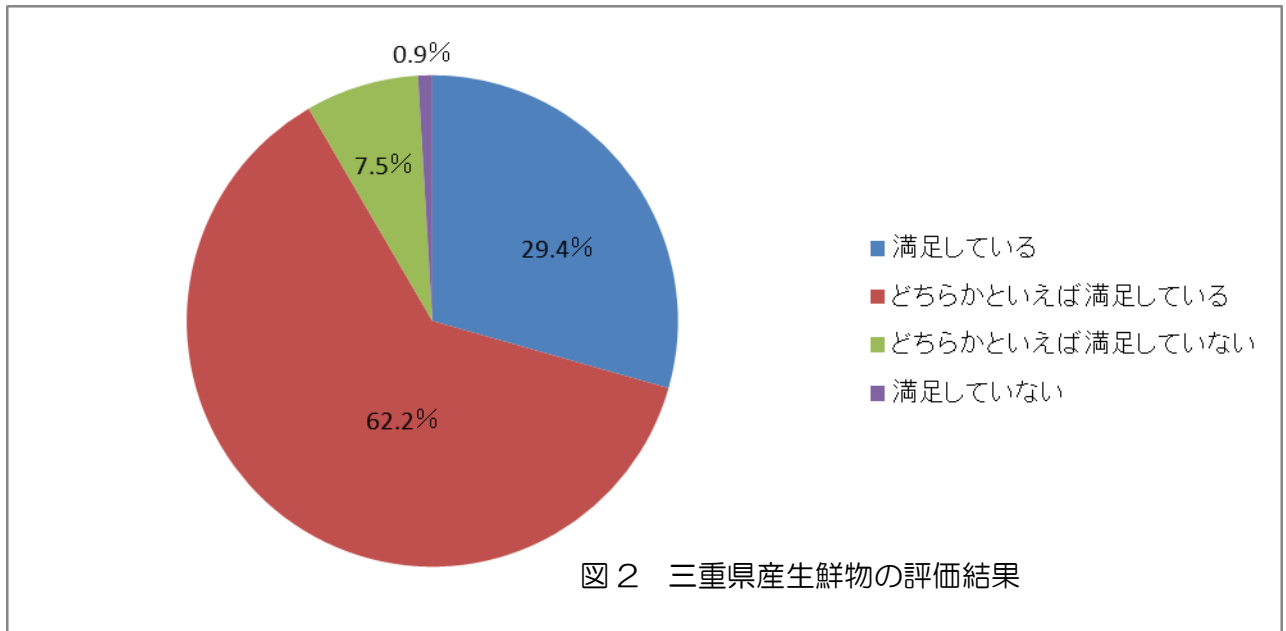
あなたは、食品を購入する場合に、三重県産の食品を意識して購入していますか。
あてはまるものを1つ選んでください。



食品を購入する場合に、三重県産を「意識している」、「どちらかといえば意識している」と回答された方は合わせて591名（69.0%）でした。

Q2 生鮮物について

あなたは、三重県産の生鮮物（青果物、鮮魚、米、精肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



三重県産の生鮮物について「満足している」と回答された方は252名（29.4%）、「どちらかといえば満足している」と回答された方は533名（62.2%）で、合わせると785名（91.6%）にのぼり、多くの方が、三重県産の生鮮物に満足していることがわかりました。

Q3 Q2でそう感じた理由

Q2であなたがそう感じた理由を3つまで選んでください。

① 「満足している」、「どちらかといえば満足している」を選択された方（785人）の回答

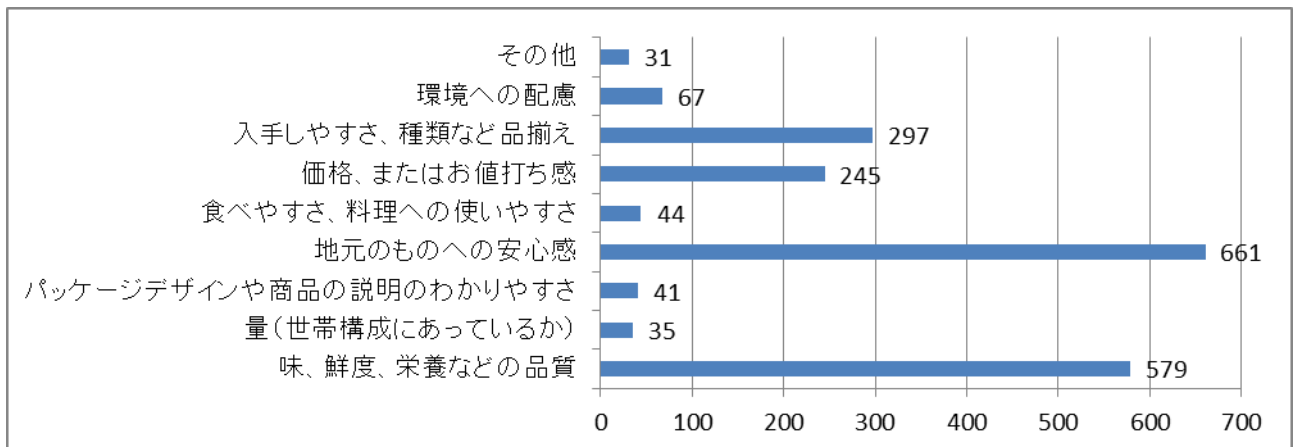


図3 Q2で「満足している」「どちらかといえば満足している」を選択された方の内容

「満足している」、「どちらかといえば満足している」と感じた理由として「地元のものへの安心感」を選択された方は661人、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は579人で、これら2つが主な理由として選ばれていました。また、「その他」で、「地域活性化のため」、「地元産業を応援するため」などの回答がありました。

② 「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」を選択された方（72人）の回答

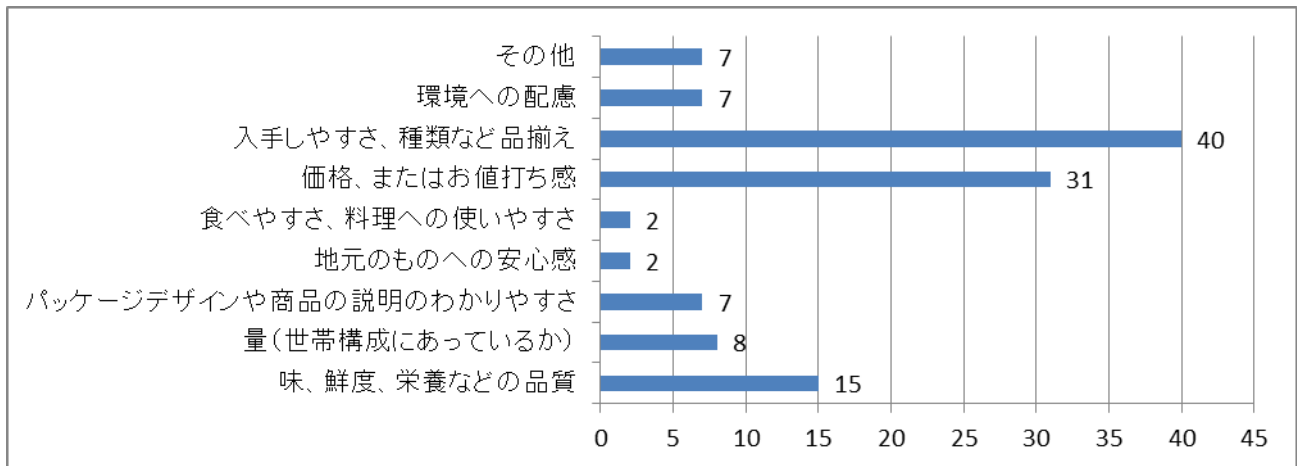


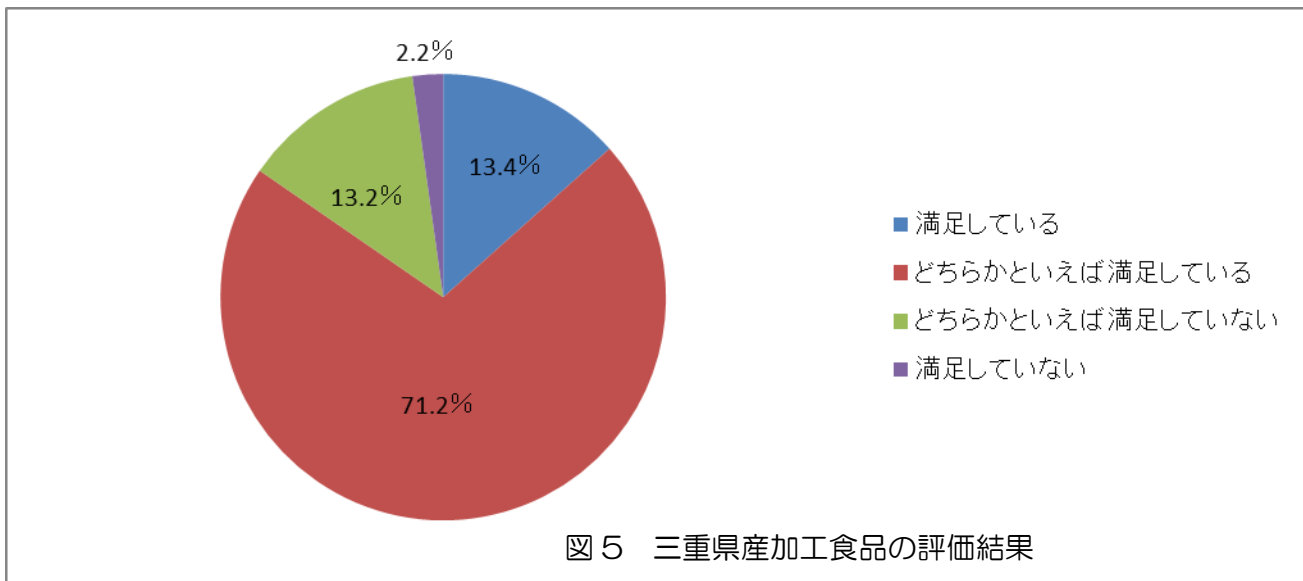
図4 Q2で「満足していない」「どちらかといえば満足していない」を選択された方の内容

「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」と感じた理由として「入手しやすさ、種類など品揃え」（に対して満足していない、どちらかといえば満足していない）を選択された方は40人で、「価格、またはお値打ち感」（に対して満足していない、どちらかといえば満足していない）を選択された方は31人、これら2つが主な理由として選ばれていました。

Q4 加工食品について

あなたは、三重県産の加工食品に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

三重県産の加工食品について「満足している」と回答された方は115名（13.4%）、「どちらかといえば満足している」と回答された方は610名（71.2%）でした。



Q5 Q4 であなたがそう感じた理由を3つまで選んでください。

① 「満足している」、「どちらかといえば満足している」を選択された方（725人）の回答

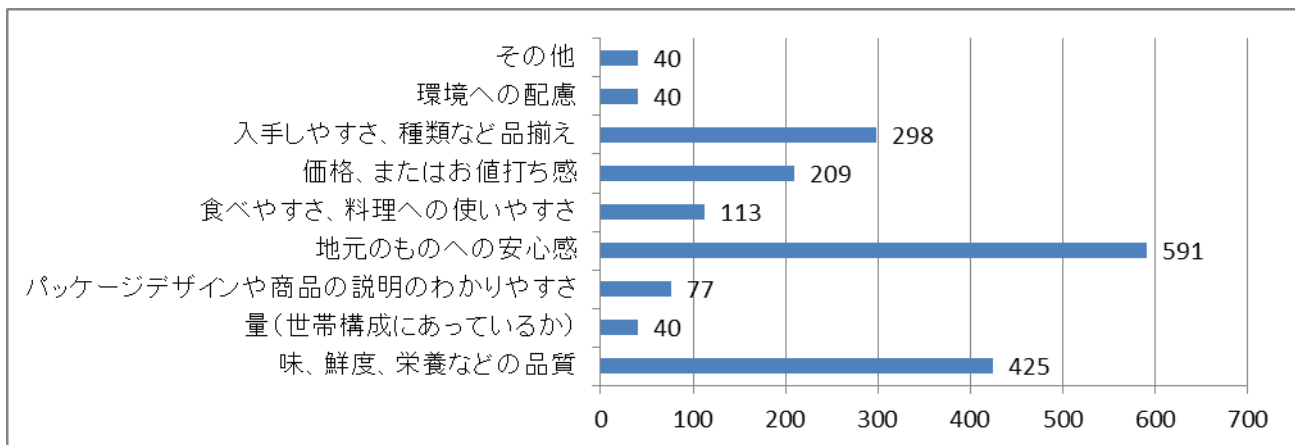


図5 Q4で「満足している」「どちらかといえば満足している」を選択された方の内容

理由として「地元のものへの安心感」を選択された方は591人、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は425人で、生鮮物と似た傾向が見られました。

② 「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」を選択された方（132人）の回答

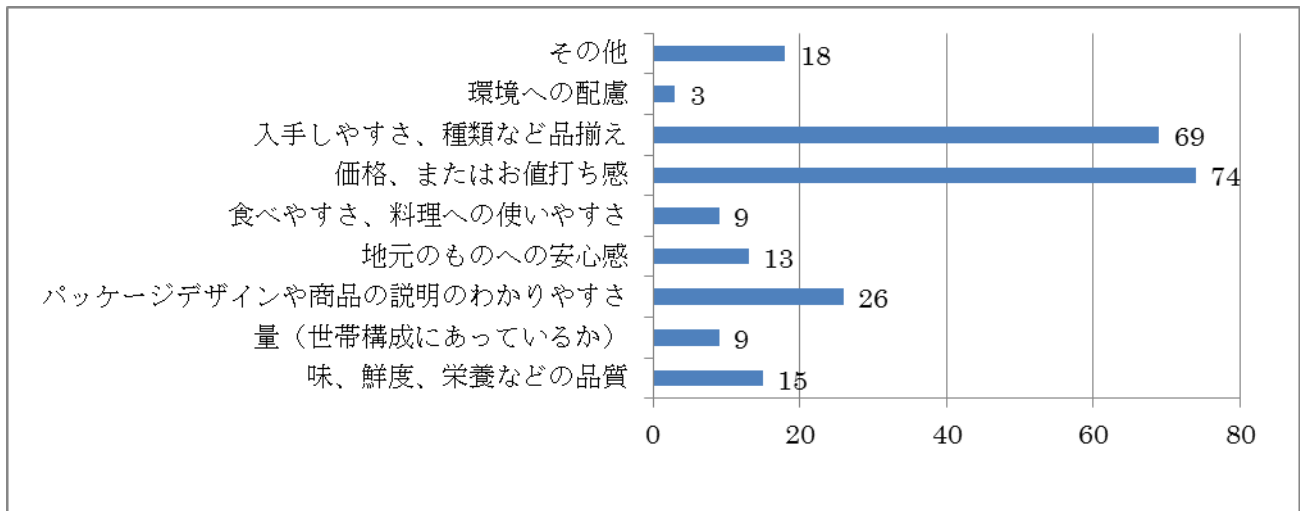


図7 Q4で「満足していない」「どちらかといえば満足していない」を選択された方の内容

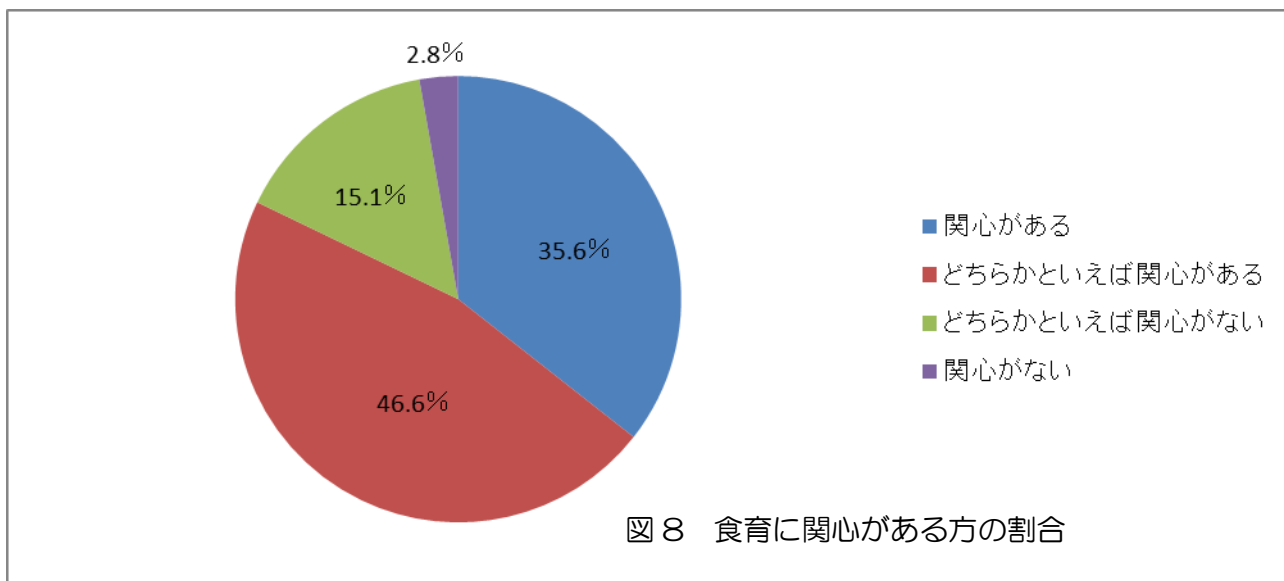
理由として「価格、またはお値打ち感」（に対して満足していない、どちらかといえば満足していない）を選択された方は74人、「入手しやすさ、種類など品揃え」（に対して満足していない、どちらかといえば満足していない）を選択された方は69人でした。また、「その他」で、「三重県産の加工品をあまり知らない」「入手できる場所が限られている」などの意見がありました。

Q6 食育について

※「食育」についてお聞きします。

あなたは、「食育」に関心がありますか。それとも関心がありませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

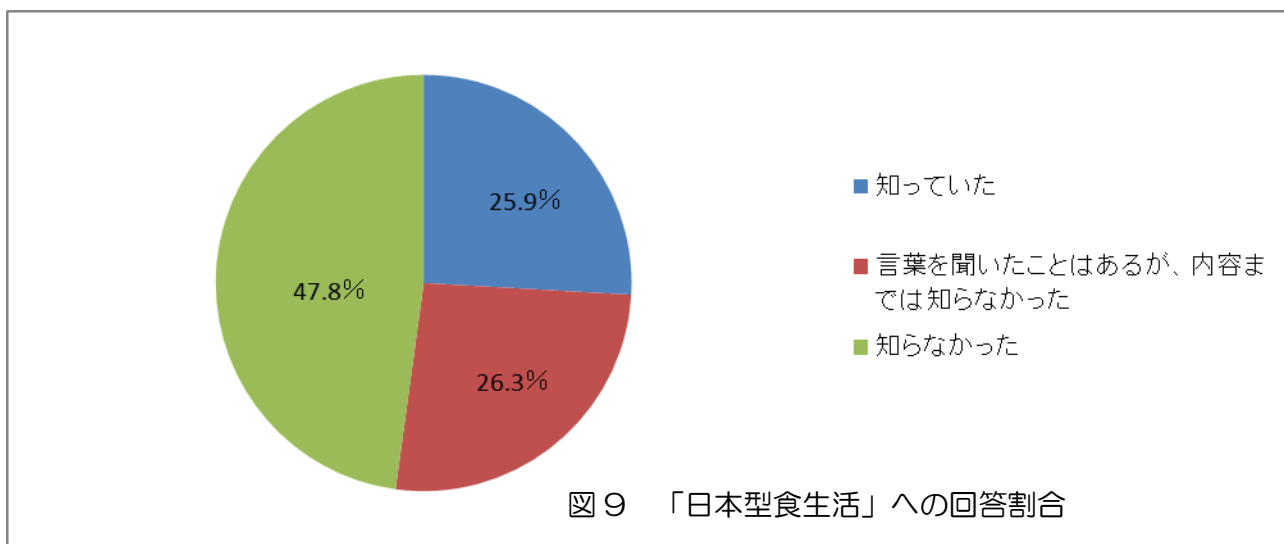


Q6では「食育」に関連する内容について質問させていただきました。Q6で食育に「興味がある」、「どちらかといえば興味がある」と回答された方は合わせて704人（82.2%）で、多くの方が食育に関心を持っていることがわかりました。

Q7 日本型食生活について

※「日本型食生活」についてお聞きします。あなたは「日本型食生活」という言葉をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

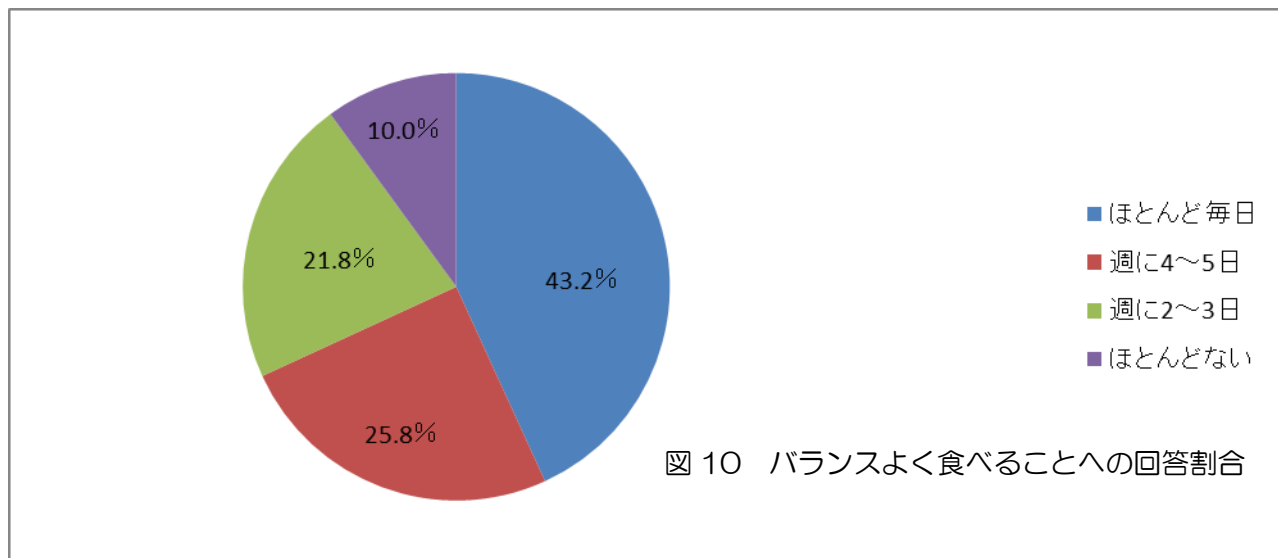
※「日本型食生活」とは、昭和50年代ごろの食生活のこと。ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた食事です。



主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせることで、1日に2回以上あるのは週に何回ありますか？という質問に対して、最も多かったのは「ほとんど毎日」との回答で、48%、次いで多かったのが「週に4～5回」で25%でした。

Q8 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせる食べることが、1日2回以上あるのは週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



バランスよく食べることについて「ほとんど毎日」と回答された方は370名（43.2%）、「週に4日~5日」と回答された方は214名（25.0%）で「週に2日~3日」と回答された方は187名（21.8%）で、合わせると771名（90.0%）にのぼり、多くの方が、日々バランスよく食べることを意識していることがわかりました。

Q9 県が提供している情報の入手手段について

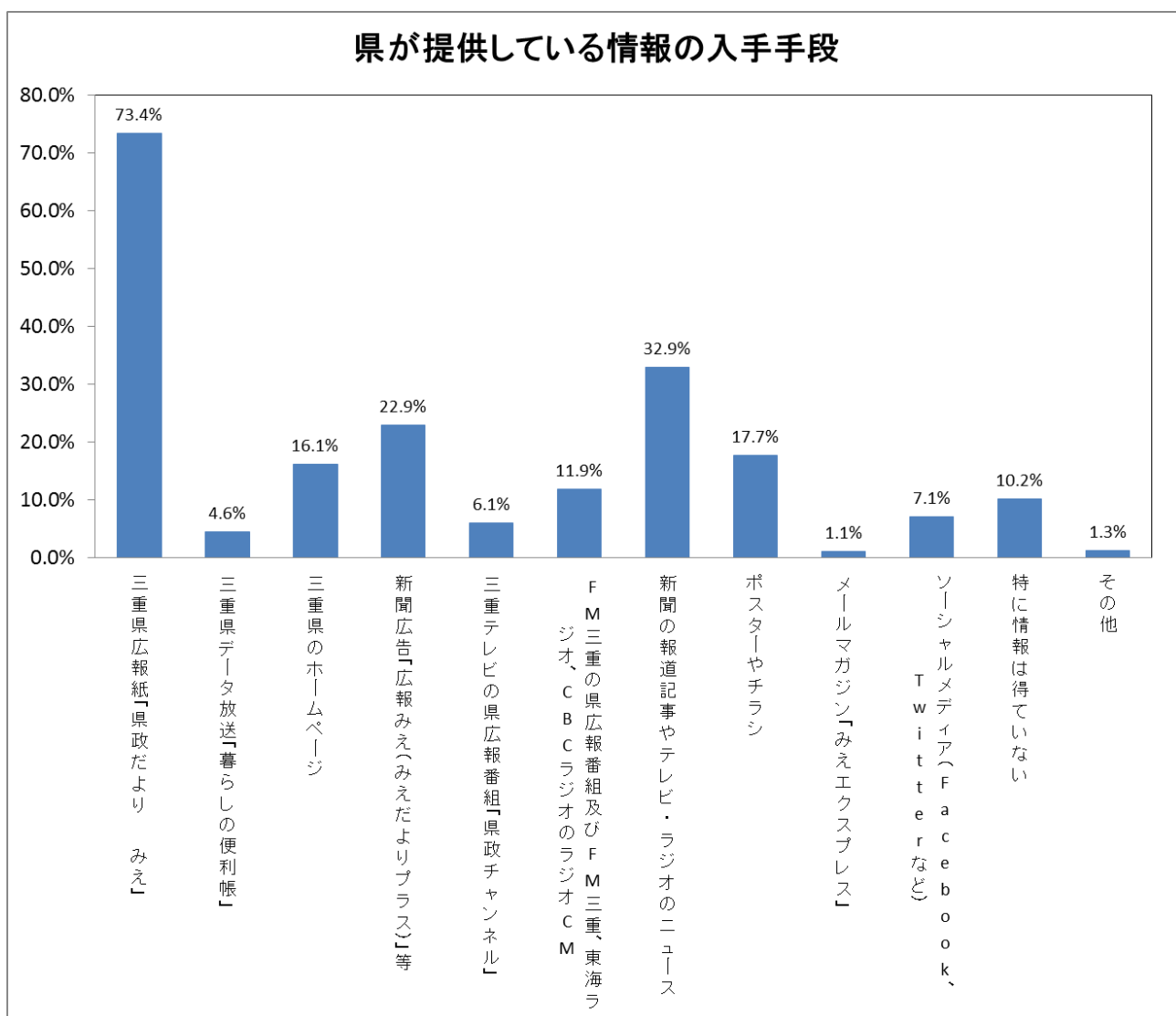
あなたは、三重県が提供している情報※をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※三重県が提供している情報とは、県の計画・政策・財政、募集案内、催し物案内、研修案内、各種統計、県有施設の案内、官公署の事務手続き方法等に関する情報のことです。

県の事業や催し物などの情報源については、「三重県広報紙『県政だより みえ』」が73.4%（629人）と最も多く、次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュース」が32.9%（282人）、「新聞広告「広報みえ（みえだよりプラス）」等」が22.9%（196人）などとなっています。平成26年4月から開始した「三重県データ放送『暮らしの便利帳』」は4.6%（39人）でした。

県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、広報紙、新聞やテレビ・ラジオ、県のホームページなど、それぞれの媒体の優れた点を生かし、今後も県の情報をより分かりやすく、適切に発信していきます。

N=857



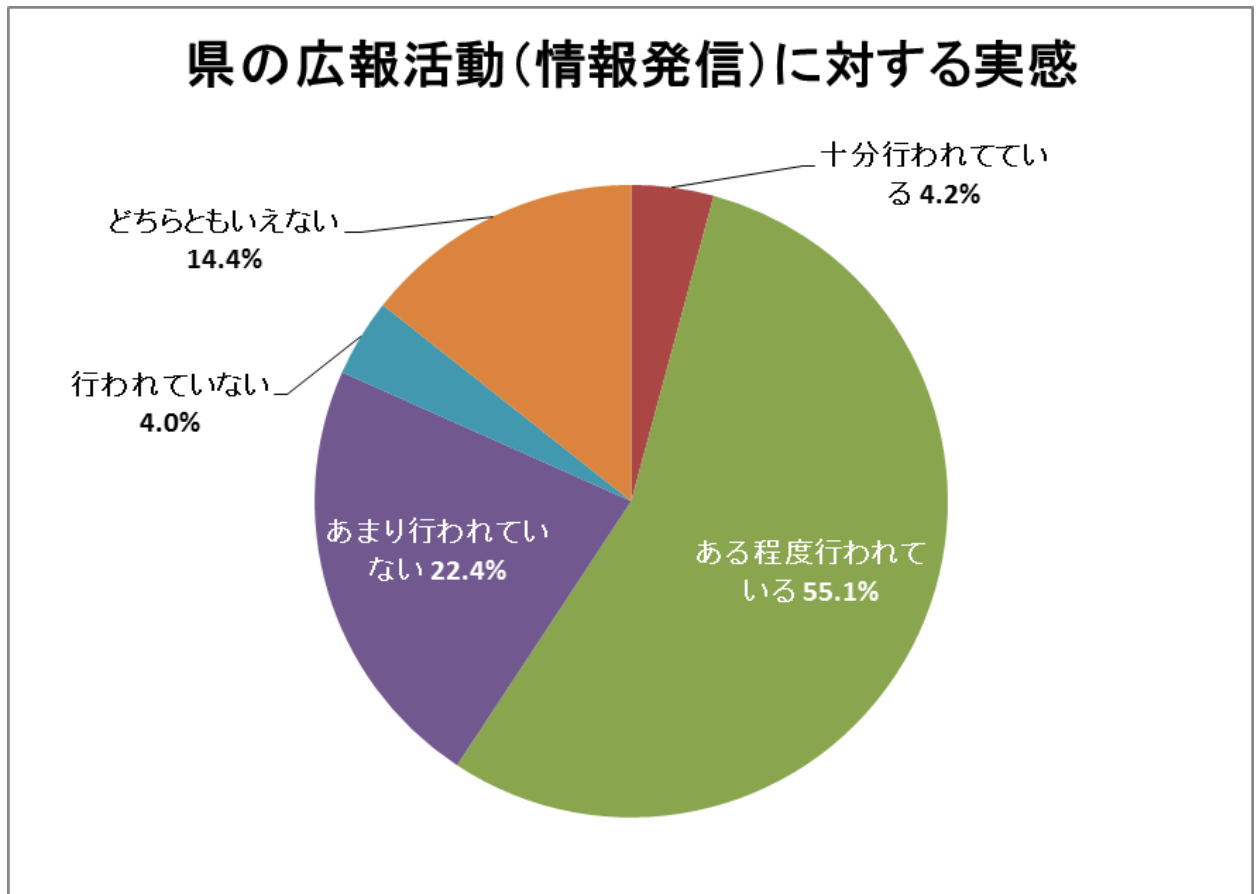
Q10 県の広報活動（情報発信）に対する実感について

あなたは、県が行っている三重県広報紙、三重県データ放送、三重県のホームページ、テレビ・ラジオ、新聞などのさまざまな広報媒体を活用した広報活動（情報発信）は、十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

県の広報活動（情報発信）について「十分行われている」「ある程度行われている」を選択した方は、合わせて59.3%（508人）となっている一方で、26.4%（226人）の方は「あまり行われていない」「行われていない」と感じています。

今後も、県民の皆さんに県の情報を的確にお届けできるよう、各媒体の特性を生かし、さまざまな媒体を活用して、より積極的な広報活動に取り組んでいきたいと考えています。

N=857

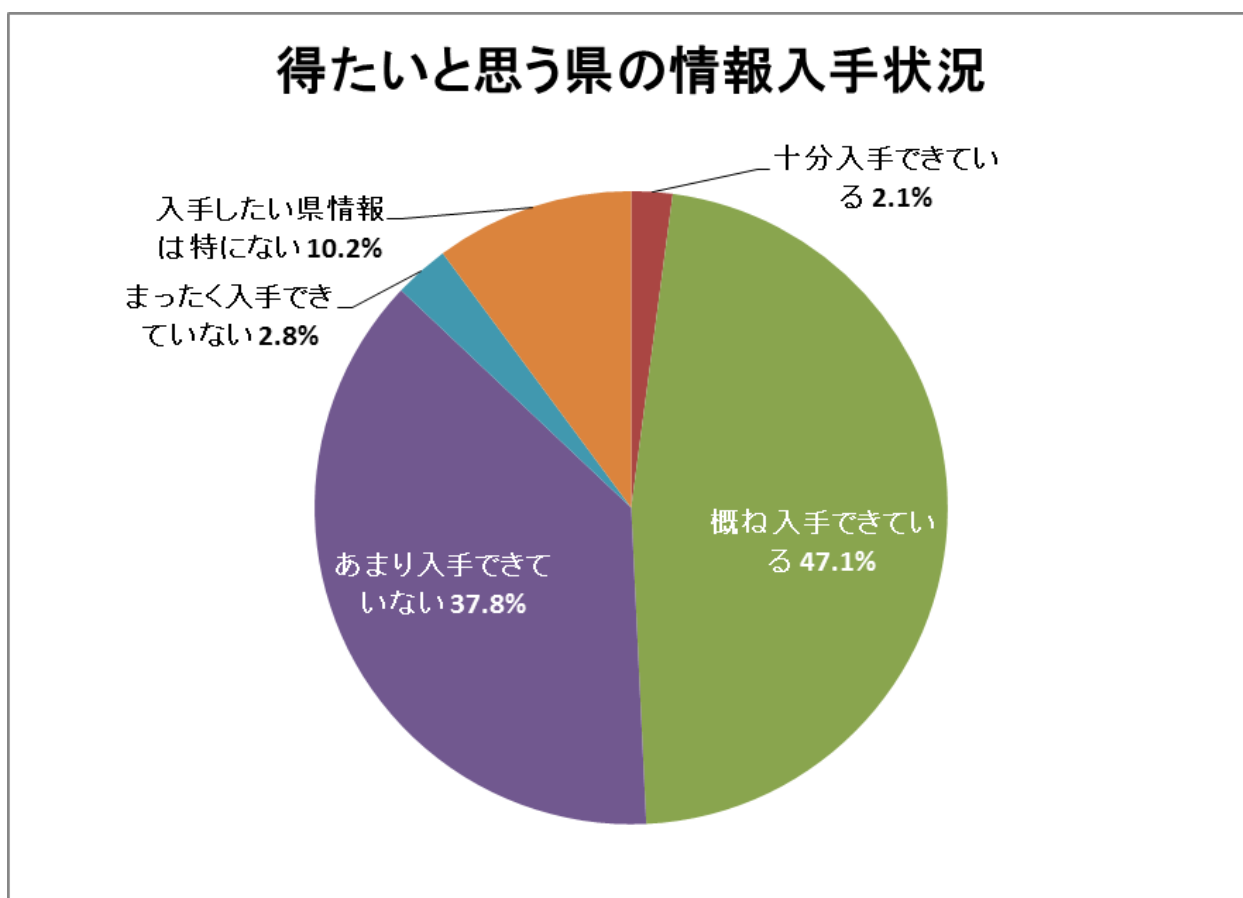


Q11 県の情報の入手状況について

あなたは、得たいと思う県の情報を入手できていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

得たいと思う県の情報について「十分入手できている」「概ね入手できている」を選択した方は、合わせて49.2%（422人）となっている一方で、40.6%（348人）の方は「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」と感じています。

N=857



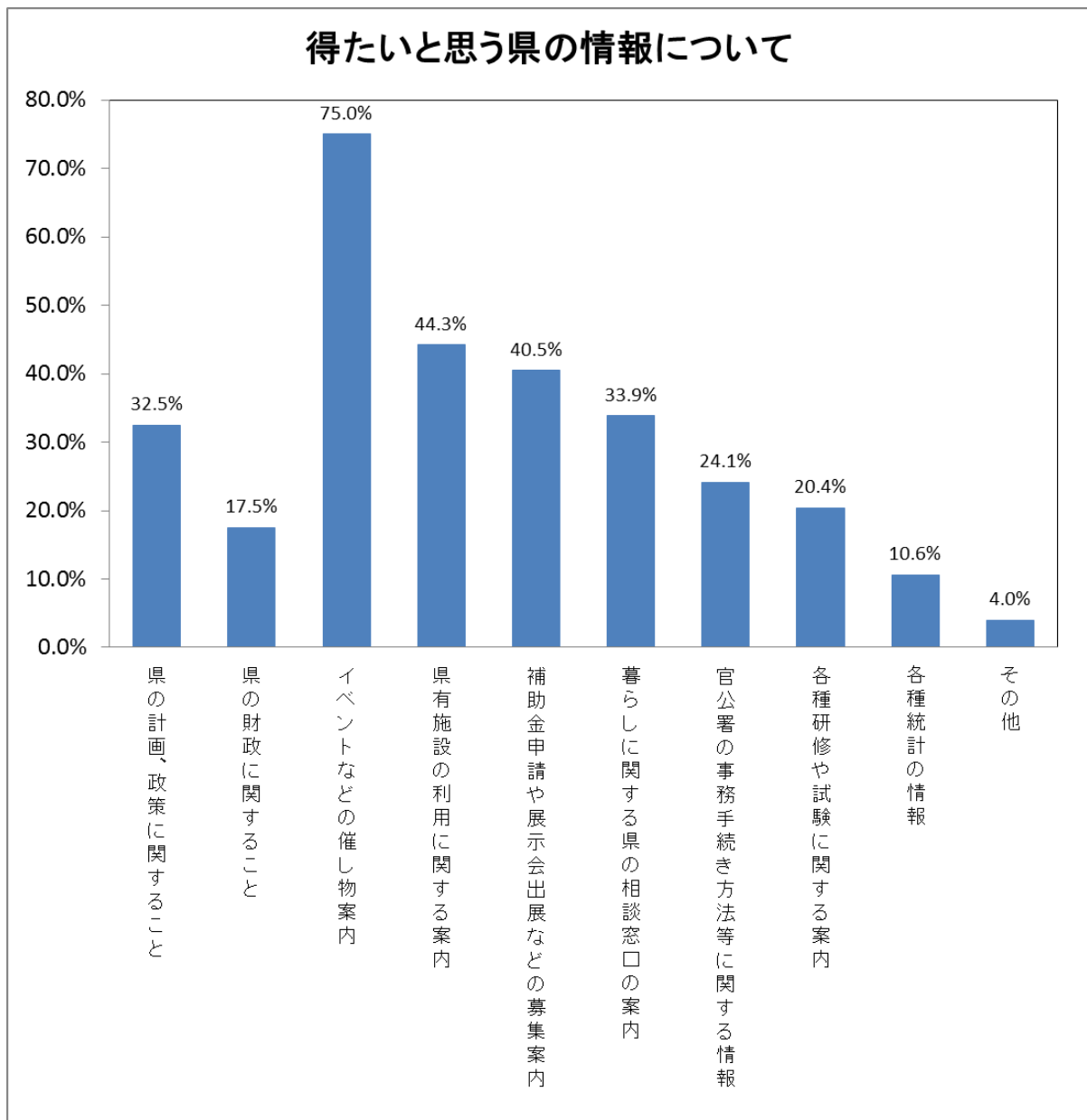
Q12 得たいと思う県の情報について

あなたは、具体的にどのような県の情報を得たいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

Q11で、「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」と回答した方のうち、得たいと思う県の情報で、最も多かったのが「イベントなどの催し物案内」が75.0%（261人）、次いで「県有施設の利用に関する案内」44.3%（154人）、「補助金申請や展示会出展などの募集案内」40.5%（141人）でした。

得たいと思う県の情報については、県民の皆さんのニーズを把握しながら、より適切な媒体による情報発信に取り組んでいきたいと考えています。

N=348



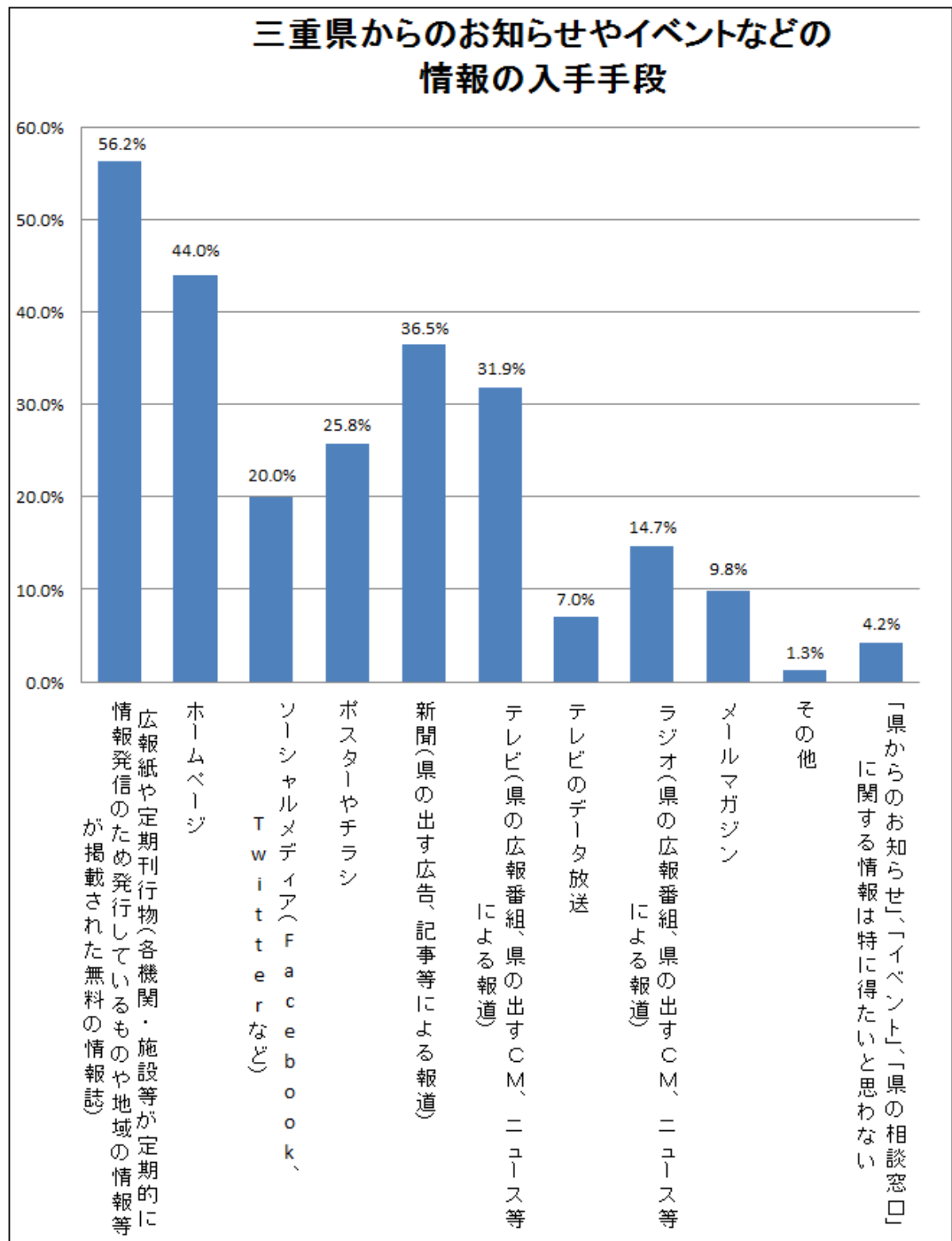
Q13 県からのお知らせやイベントなどの情報の入手手段について 1

「県からのお知らせ」、「イベント」、「県の相談窓口」に関する情報をどの媒体で入手したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

三重県からのお知らせやイベントなどの情報の入手手段についてお聞きしたところ、最も多かったのが「広報紙や定期刊行物」で56.2%(482人)、次いで「ホームページ」が44.0%(377人)、「新聞」が36.5%(313人)、「テレビ」が31.9%(273人)でした。

このことから、お知らせやイベントなどの情報は、手元に残る紙媒体や、見たい時にいつでも見ることができるホームページなどを希望される方が多いことがわかりました。

N=857



Q14 県からのお知らせやイベントなどの情報の入手手段について 2

Q13で、あなたがそのように選んだ理由や補足したいことがあれば教えてください。(自由記載)

「三重県からのお知らせやイベントなどの情報を、どの媒体で入手したいと思うか」に対するご意見の一部を紹介します。

【広報紙や定期刊行物（各機関・施設等が定期的に情報発信のため発行しているものや地域の情報等が掲載された無料の情報誌）】

- 県からのものとして、他の情報が混在せず、わかりやすいと思われるから。
- 定期的に入手できるから。
- 広報は必ず目を通すので、気になるものがあれば必ず読むと思います。
- 広報紙だと残しておいて、貼っておいたりできるから。
- テレビ・ラジオからの情報だと忘れてしまうので、手元に情報誌があればと思います。

【ホームページ】

- 必要とする情報が随時入手することができるから。
- ホームページは見たいときに見られるから。
- 手軽に調べられるから。
- ホームページが一番利用しやすいから。
- ホームページの検索がもう少し簡単に検索できれば良い。

【新聞（県の出す広告、記事等による報道）】

- 自分は必ず新聞は読むから。
- 新聞は毎日目を通すので、新聞からの方が情報を得やすい。
- 一番入手しやすいから
- 三重県や地方ページの情報は、インターネットニュースなどではあまりわからない。
- ホームページは自ら閲覧しないと目につくことがないが、新聞などは興味がある無に関わらず全体に目を通すため、多くの人の目に止まりやすい。

【テレビ（県の広報番組、県の出すCM、ニュース等による報道）】

- 高齢者用や幼児保護者のメディアとしてテレビ放送は手軽で影響力の大きなものであるから。
- 忙しいので、読む時間がない。聞く方が楽。
- テレビのニュース以外はあまり見ない。
- 日常生活（テレビ番組等）の中で、気づけばいいのではないかと思います。
- テレビのニュースだと、毎日同じ時間にイベント情報等流れるので、興味がなくても自然に見聞きし、何となく頭に入っていて、一番記憶に残っているから

いただいた意見につきましては、今後、三重県からのお知らせやイベントなどの情報を、どの媒体を使って県民の皆さんに届けていくのがよいかを検討していくための参考にさせていただきます。

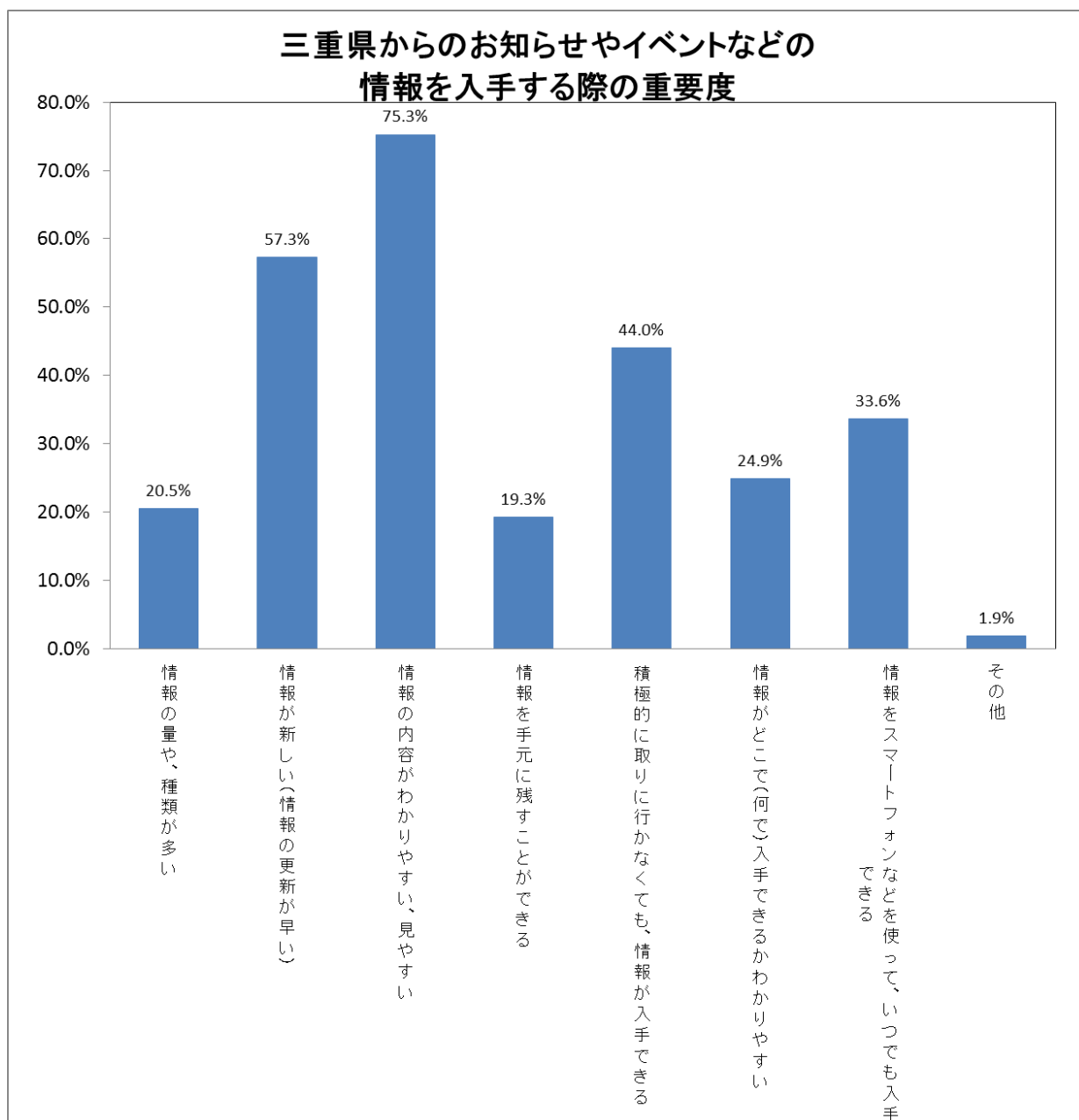
Q15 県からのお知らせやイベントなどの情報を入手する際の重要度について 1

県からのお知らせ、「イベント」、「県の相談窓口」に関する情報を入手する際に、どのような点が重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

三重県からのお知らせやイベントなどの情報を入手する際の重要度についてお聞きしたところ、最も多かったのが「情報の内容がわかりやすい、見やすい」で75.3%（645人）で、次いで「情報が新しい（情報の更新が早い）」が57.3%（491人）、「積極的に取りに行かなくても、情報が入手できる」が44.0%（377人）でした。

このことから、お知らせやイベントなどの情報は、新しくかつわかりやすい内容で、自ら行動しなくとも、情報が入手できる状態を重要視する方が多いことがわかりました。

N=857



Q16 県からのお知らせやイベントなどの情報を入手する際の重要度について 2

Q15で、あなたがそのように選んだ理由や補足したいことがあれば教えてください。(自由記載)

「三重県からのお知らせやイベントなどの情報を入手する際の重要度」に対するご意見の一部を紹介します。

【情報が新しい(情報の更新が早い)】

- 新しい情報をわかりやすく簡単に入手できることは高齢者にとって重要だと思います。
- 情報を見に行っても、古いものだと意味がないし、今後も頼りにはしなくなると思います。
- インターネットで情報を出す場合、鮮度が重要だから。
- 更新を頻繁に行われていると何度も見たいと思うから。
- 情報の量や種類よりも、新しくわかりやすさを求める。

【情報の内容がわかりやすい、見やすい】

- 誰が読んでもよくわかる内容を、県民目線で提供してもらいたい。
- わかりやすく書いてあるのが一番です。
- 情報の量よりわかりやすいほうが内容を理解しやすく興味をもてるため。
- パッと見て、内容が把握出来た方が忙しい人には優しいと思うから
- 情報が過多の今日、住民が目にとまるような、興味を引くインパクトのある広報にするべきだと思います。

【積極的に取りに行かなくても、情報が入手できる】

- 積極的に取りに行く人は少ない。民間の広告を参考にするべき。
- 先行情報を得られるから。
- 積極的に取り入れなくても、自然に目に入るのが良い。
- 簡単に入手できたら興味も出るから。
- 時間帯に関係なく調べることが出来る。

【情報をスマートフォンなどを使って、いつでも入手できる】

- 知りたいことは検索するから。
- 自らの意思に関係なく入ってくるもの、目にするものではなく、知りたいと思ったときに自らの意思で検索することが多いため。
- 大体の人は最初の3行だけしか読んでないと思うので。
- 常に持ち歩いているスマホで確認できたら楽。でも、年配の方には向いてないですね。
- 常に持っているから。

いただいた意見につきましては、今後、三重県からのお知らせやイベントなどの情報を、どのように県民の皆さんに届けていくのがよいかを検討していくための参考にさせていただきます。